

東北地方太平洋沖地震

マグニチュード9.0、平泉町では震度5強を観測

3月11日午後2時46分、東北地方を中心とした広い地域で大きな地震がありました。震源は宮城県三陸沖でマグニチュードは観測史上世界4番目となる9.0を記録。宮城県栗原市で震度7、当町では震度5強を観測しました。

また地震直後に発生した大津波により、岩手県をはじめ、宮城県や福島県など広範囲の沿岸地域に甚大な被害をもたらしました。



今回の大地震により、大きな亀裂が生じた髻石（5区）

ライフラインに乱れ

この地震の直後、当町をはじめ県内全域で停電や電話回線が不通となるなど、各地でライフラインが寸断されました。町内では、地震による水道管の破裂や長引く停電の影響で、一部地域での断水など住民生活に支障が生じました。

町内の電気や電話が復旧したのは、地震発生から4日後となるなど、これまでに経験のない大混乱を招きました。

今回の地震は、ライフラインの寸断のほか、道路交通網の遮断や燃料不足、食料品などの買い占めにより店舗の商品がなくなるなど地震後の生活に大きな影響を与えました。

一時避難所を設置

町では、平泉小学校と長島小学校の両体育館を一時避難所として設置。町民や地震のため坂

保に努めるなど自主防災会としての機能を果たす活動も見られました。

町内の被害状況

町内では、民家の壁や屋根の一部崩落、町道や法面に亀裂が生じるなどの被害を受けました。公共施設では悠久の湯平泉温泉の配管の破損や、平泉中学校体育館の一部が破損するなど数カ所の施設で利用ができなくなる被害を受けました。

また町内の文化財では、一部の仏閣で仏像が倒れるといった被害がありました。幸い軽微なもので済みました。

つめ跡

当町での今回の地震は、比較的軽い被害で済みまし。

しかし、直後の大津波により沿岸部の地域は、街全体が壊滅的な被害を受け、多くの尊い命が奪われ、今なお数多くの行方不明者がいる未曾有の大災害となりました。

また福島第1原子力発電所が地震・津波の被害を受け、農作物や水道など放射能物質による汚染が心配されるなど国民の生活に大きな影響が出ています。



▶ 婦人消防協力隊による炊き出し

下地内に緊急停車した電車の利用客など約160人が避難しました。避難所では、婦人消防協力隊による炊き出しが行われたほか、行政区ごとに組織する自主防災会が、各公民館を避難所として設置、地域住民の安全確

町民の皆さまへ

東北地方太平洋沖地震におきまして、亡くなられた方々のごめい福をお祈りするとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

また一人暮らし老人の安否確認、一時避難者への対応や町内のパトロールなど、町民の皆さまには数多くのご協力を頂き深く感謝申し上げます。

この度の大地震はかつて経験のない、まさに未曾有の大災害で、東北地方を中心に、本当に大きな被害をもたらしました。

町内におきましては、大きな被害もなく、ライフラインも元通りになったところをごいませす。しかしながら県内では、沿岸部において大津波が押し寄せ、まちが壊滅状態になり、多くの尊い命と、生活が奪われ、今なお電気、水道などが復旧していない状況であります。

このような中、震災後1週間が経過した陸前高田市に、職員とともに水や燃料などの物資を届けてまいりました。現場は、想像をはるかに超える惨々たる状況であり、何とも悲痛な思い

でありました。

災害対策本部で市長とお会いすることができ、町民を代表してお見舞いと激励を申し上げ、支援物資などの運搬作業を行ってまいりました。

物資の配送センターや避難所では、地元の中学生や高校生、そして市民の方々が一生懸命作業をしていました。その姿を見て、「頑張ってください」としか言えませんでした。「ありがとうございます」と言います。頑張りませす」と返ってきた言葉には、何とも言い表せない気持ちでした。

市長には、これから私たちができる支援につきまして、その都度要望していただくようお願いしてまいりました。

町では、給水活動や避難者の移動送迎など現地での支援活動を行っており、引き続き支援してまいりたいと考えております。

さらには、被災地からの避難者の受け入れや仮設住宅の建設場所の提供などについても県に報告し準備をしております。現在、国、県においては最大限の努力をしているところであ

り、町としてもできる限りの支援を行ってまいりたいと考えております。

県内の沿岸部、さらには宮城県、福島県の沿岸部を中心に、被災された方々は、余震が続く中、生き延びるために精一杯頑張っている状況です。

これからの災害復興に向け、県民として、国民として、最大限の協力をしながら、一致団結して頑張っていきたいと思います。

今後、町民の皆さまに、ご支援をお願いすることが予想されることから、その際にはぜひご協力を頂ければと思っております。

また流通は戻りつつありますが、引き続き燃料や電力などの節減、節約につきましてご協力をお願いいたします。

ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

平泉町長 菅原正義

たくさんの方々の善意 ありがとうございます

今回の災害では、一時避難所への物資の提供など多くの支援を頂きありがとうございました。

また大津波により被災した沿岸地域への救援物資を募集したところ、米や毛布、紙おむつなど10万点を超える数多くの提供を頂きました。提供頂いた物資は、陸前高田市の被災者へ送られます。心からお礼申し上げます。



町民の方々による物資の仕分け作業

防災無線を確認しましょう

防災行政無線の戸別受信機は、皆さんの生命・財産を守る大切な情報伝達機器です。もう一度、戸別受信機を確認しましょう。

- ▷ 乾電池は、停電などの非常時に電源を確保するためのものです。1年に1回、電池の交換をしてください。
- ▷ 戸別受信機の油分やほこりをふき取るなど、日常の管理・清掃をお願いします。
- ▷ 戸別受信機は、町から各家庭へ貸し出ししているものです。受信機の転貸などはできません。また転出の際は必ず役場へ返却してください。
- ▷ 戸別受信機に故障が生じた場合は、総務企画課まで連絡してください。

問い合わせ先…総務企画課 ☎46-5578